
車輪脱落事故防止についてのお願い

近年、ホイールボルトの折損等による大型車の車輪脱落事故が増加しています。

平成28年度の大型自動車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）のホイールボルト折損等による車輪脱落事故の発生件数は56件（うち人身事故は3件）で、前年度に比べ15件増加しています。特に11月から3月に36件（全体の約64%）発生しており、大型自動車の車輪脱落事故は冬期に発生する傾向にあります。

原因としまして、ホイールナットの不適切な締付け（トルク不足など）や、ホイールボルト及びナットの経年劣化が疑われるものが多くを占めていました。

車輪の脱落は、状況によっては人命に係る重大な事故を引き起こすおそれがあります。

つきましては、運行前やタイヤ交換作業等に当たっては、「**車載の取扱説明書**」や『**合言葉は、「おちない」**』『**ストップ！！ザ・車輪脱落事故**』、「**トレーラのホイールナット締付け要領について**」等を参照していただき、下記の4点を徹底し事故の無いように運行をお願い致します。

1. ホイールナットの規定トルクでの締付け
2. タイヤ（ホイール）交換後、50～100km走行後の増し締め
3. 日常（運行前）点検での確認
4. 専用ボルト及びナットの使用

* 関連資料

- ・ [合言葉は「おちない」…大型車の車輪脱落を防ごう \[PDF/658KB\]](#)
- ・ [「ストップ！！ザ・車輪脱落事故」…大型車の車輪脱落事故ゼロへ \[PDF/2.19MB\]](#)
- ・ [トレーラのホイールナット締付け要領について \[PDF/197KB\]](#)

以上